

社会福祉法人 大阪社会医療センターの 現状等について

令和7年5月
福祉局

(1) 大阪社会医療センター経営改善に向けた取組状況

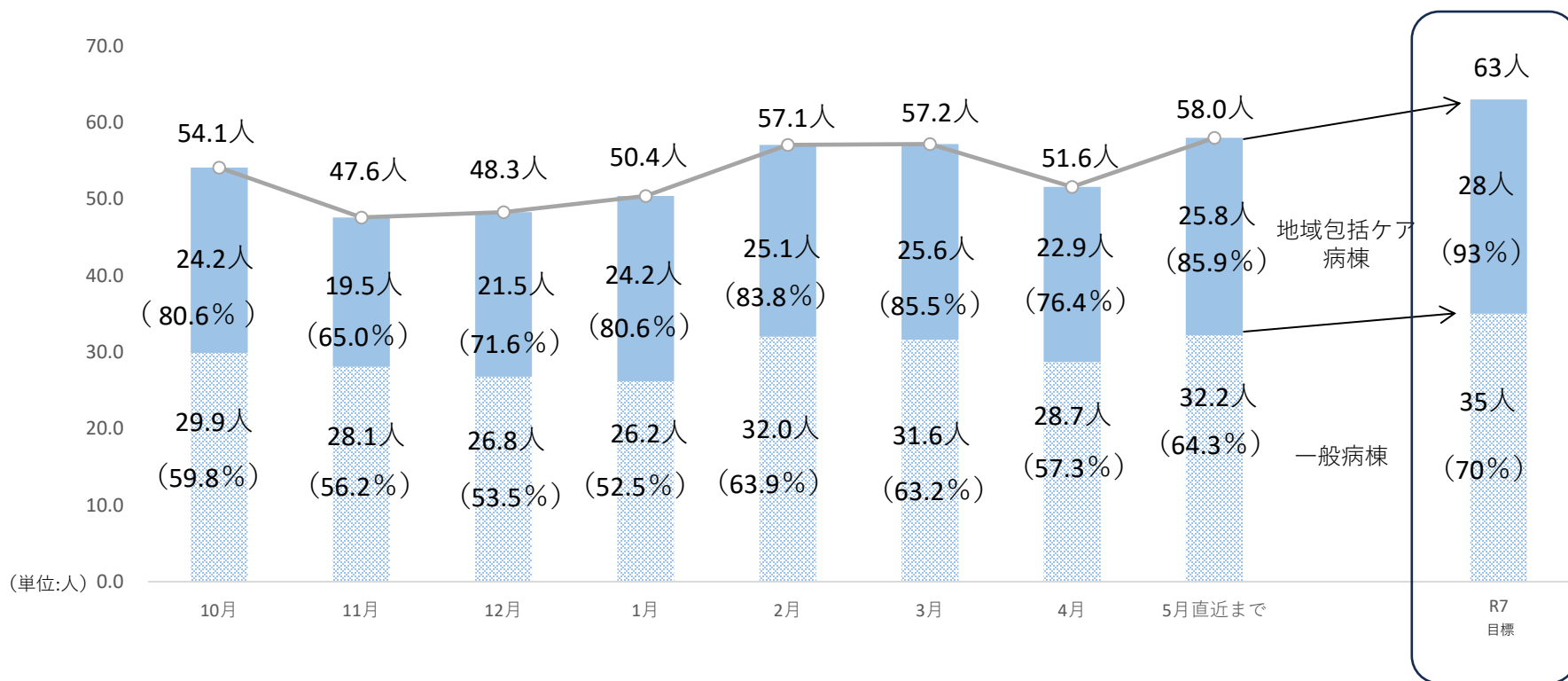
① 令和6年度実績

項 目	R6.4～9 実績	R6下半期目標		R6.10 実績	R6.11 実績	6.12 実績	R7.1 実績	R7.2 実績	R7.3 実績	R6.10～ R7.3 平均実績
入院 (一般病棟) 【50床】	38.9 人	1日あたりの 入院者数	29.5人	29.9 人	28.1人	26.8 人	26.2 人	32.0 人	31.6人	29.0人
	77.8 %	利用率	59.0%	59.8 %	56.2%	53.5%	52.5%	63.9 %	63.2%	58.1%
	32,309円	単価	30,500円	26,505円	24,916円	26,155円	25,472円	26,265円	25,730円	25,841円
入院 (地域包括 ケア病棟) 【30床】	—	1日あたりの 入院者数	24.0人	24.2 人	19.5 人	21.5 人	24.2 人	25.1 人	25.6人	23.4人
	—	利用率	80.0%	80.6 %	65.0 %	71.6 %	80.6 %	83.8%	85.5%	77.8%
※R6.10～	—	単価 (※)	34,896円	37,733円	43,150円	42,059円	50,342円	41,567円	41,775円	42,970円
外来 (注1)	161.2人 (193.7 人)	1日あたりの 患者数	160.3人 (194人)	164.4人 (194.3人)	164.0人 (196.8人)	172.6人 (207.1人)	161.2人 (195.1人)	164.2人 (200.7人)	151.6人 (189.6 人)	162.9人 (197.2人)
	13,383円	単価	13,500円	12,216円	13,051円	13,189円	12,795円	12,269円	14,082円	12,934円

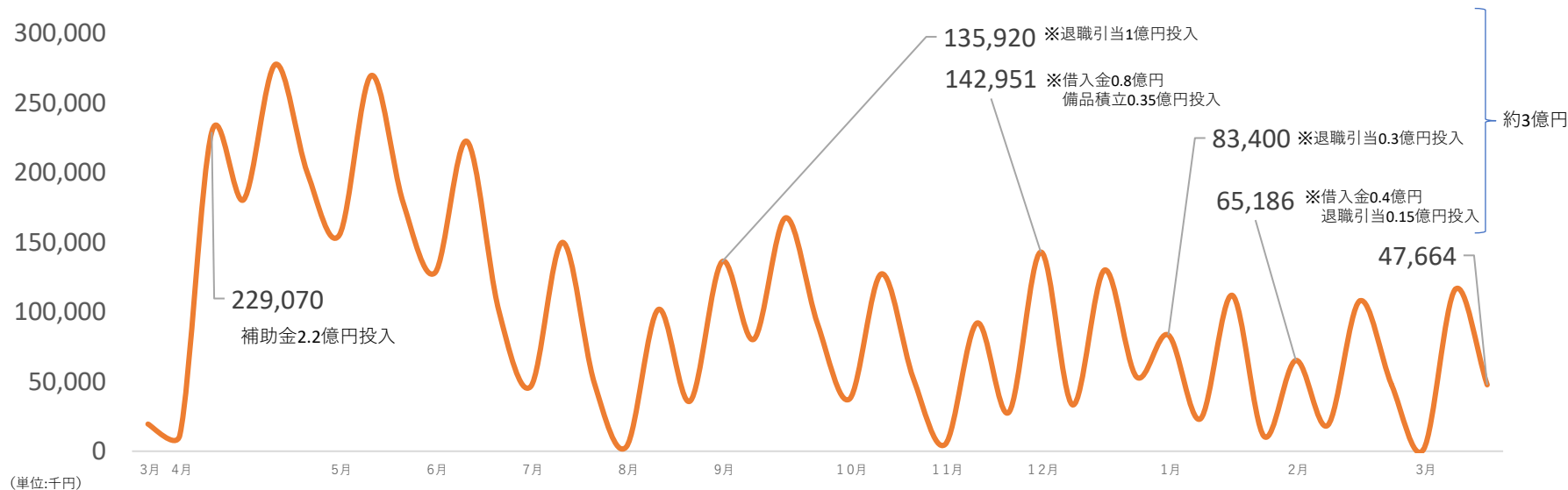
注1 カッコ内の患者数は、243日で試算（土・日曜、祝日、年末年始 12/29～1/3を除く）

【参考】令和6年度下半期及び令和7年度5月直近の入院患者数の推移について

- ・地域連携の強化や医師事務補助の実施により徐々に入院患者数が上向いていた
- ・令和7年度当初については、医師の異動などの要因により一時的に落ち込んだが、現在は回復傾向にある



② 令和6年度資金収支の状況



【参考】令和7年2月の借入（4千万円）について

・ 11月以降の病床利用率等が目標値を下回ったことから、3月分給与支払いのタイミングで一時的に資金不足（3千5百万円）が生じたため、理事長専決の金額の範囲内で、民間金融機関から2月5日に4千万円の借入（短期借入）を行ったが、下記の取組等により収支の改善が図れたため、4月17日に返済を完了

- ・ 地域包括ケア病棟単価アップ（6,212千円【1月診療分】）
- ・ 物品購入の見直し（1,438千円）
- ・ 処方の見直し（後発医薬品への切替（26,000千円【1・2月購入分】）
- ・ 多剤投与の見直し（1,925千円【11月～1月診療分】）
- ・ その他病床転換補助金（5,800千円） 等

計 41,375千円

(2)中期計画(令和7年度～令和9年度)の概要について

財務内容の改善

収入の確保及び経費の削減により資金収支を改善し、事業活動を将来にわたって安定的かつ継続的に
行うことができる状態を維持

1-1 増収について

<収入目標>

		令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標
医療事業収入額※		1,452,068千円	1,483,175千円	1,527,273千円
入院 (一般) 【50床】	うち診療収入額	332,150千円	378,140千円	432,160千円
	1日あたりの人数(利用率)	35人(70%)	37人(74%)	37人(74%)
	単価	26,000円	28,000円	32,000円
入院 (ケア) 【30床】	うち診療収入額	480,340千円	480,340千円	480,340千円
	1日あたりの人数(利用率)	28人(93%)	28人(93%)	28人(93%)
	単価	47,000円	47,000円	47,000円
外来 (242日)	うち診療収入額	620,125千円	605,242千円	595,320千円
	1日あたりの人数	205人	205人	205人
	単価	12,500円	12,200円	12,000円

※無料低額診療等事業補助金額を除く

◇一般病棟

- ・令和7年度においては、令和6年度下半期の実績から令和7年度の単価を算出。1日あたりの入院患者数は、病病連携等の増患の取組による患者数の増加を見込んだ35人（平均稼働率70%）とする。
- ・令和8年度以降は、慢性期患者の退院促進を推進し単価の増額を図るとともに、取組の定着などによるさらなる増患を見込み、入院患者数37名（平均稼働率74%）とする。

◇地域包括ケア病棟

- ・令和7年直近実績（1月・2月）（R7.1から地域包括ケア入院基本料1）から3か年の単価を算出。1日あたりの入院患者数については、令和6年度下半期の稼働状況から病病連携などの取組の定着を見込んだうえで、一般病棟との適切なベッドコントロールにより28人（平均稼働率93%）を目指し、継続していく。

◇外来

- ・様々な集患に向けた取組により、令和6年度の1日あたりの平均患者数からさらなる増加を見込む。
- ・後発医薬品への切替を推進することで、単価は段階的に減少するものの、必要数の精査や適切な在庫管理により支出を抑え、収支改善を図る。

1-2 増収の取組について＜行動計画＞

・地域連携強化

近隣病院（76か所）、西成区医師会加盟の診療所（53か所）、介護事業所等（459か所）へ2～3か月に1回を目途に訪問する計画としている。令和8年度以降については、令和7年度の訪問事業所の連携等を分析し訪問先及び回数を設定予定。

・がん検診促進事業の継続

・広報活動の強化（市民公開講座等の実施、チラシ配布、イベント開催、SNSの活用 等）

・その他

患者へのアンケート調査（定期的の実施し課題を把握）、予約システムの導入等システムを活用した利便性の向上（令和9年度の実施を検討）

2-1 経費の削減について

事務費・事業費において、必要性を精査したうえで、削減効果が高く、また、削減できる経費を積上げられたものに対し目標を設定する。

2-2 経費削減計画について

令和7年度から実施

- ・医薬品費 … 後発医薬品への切替による使用率を段階的に引き上げ（R6年度：4割→R9年度：8割）
※後発医薬品使用体制加算の取得による増収にも寄与
【削減額(R7～9)：計137,667千円（R7：87,667千円、R8：30,000千円、R9：20,000千円）】
- ・診療・療養等材料費 … 価格交渉や代替品に変更【削減額(R7)：1,321千円】
- ・事務消耗品費等 … 一部の衛生用品を価格交渉や代替品に変更、ペーパーレス化の推進等【削減額(R7)：7,105千円】

令和8年度から実施

- ・業務委託費 … 現行契約（保安設備管理、清掃）満了時に仕様書（業務内容・人員配置の見直し）の見直し
【削減額(R8)：7,078千円】

2-3 医療事業収入における経費削減後の費用比率目標 ※業務委託費のみ目標値は金額

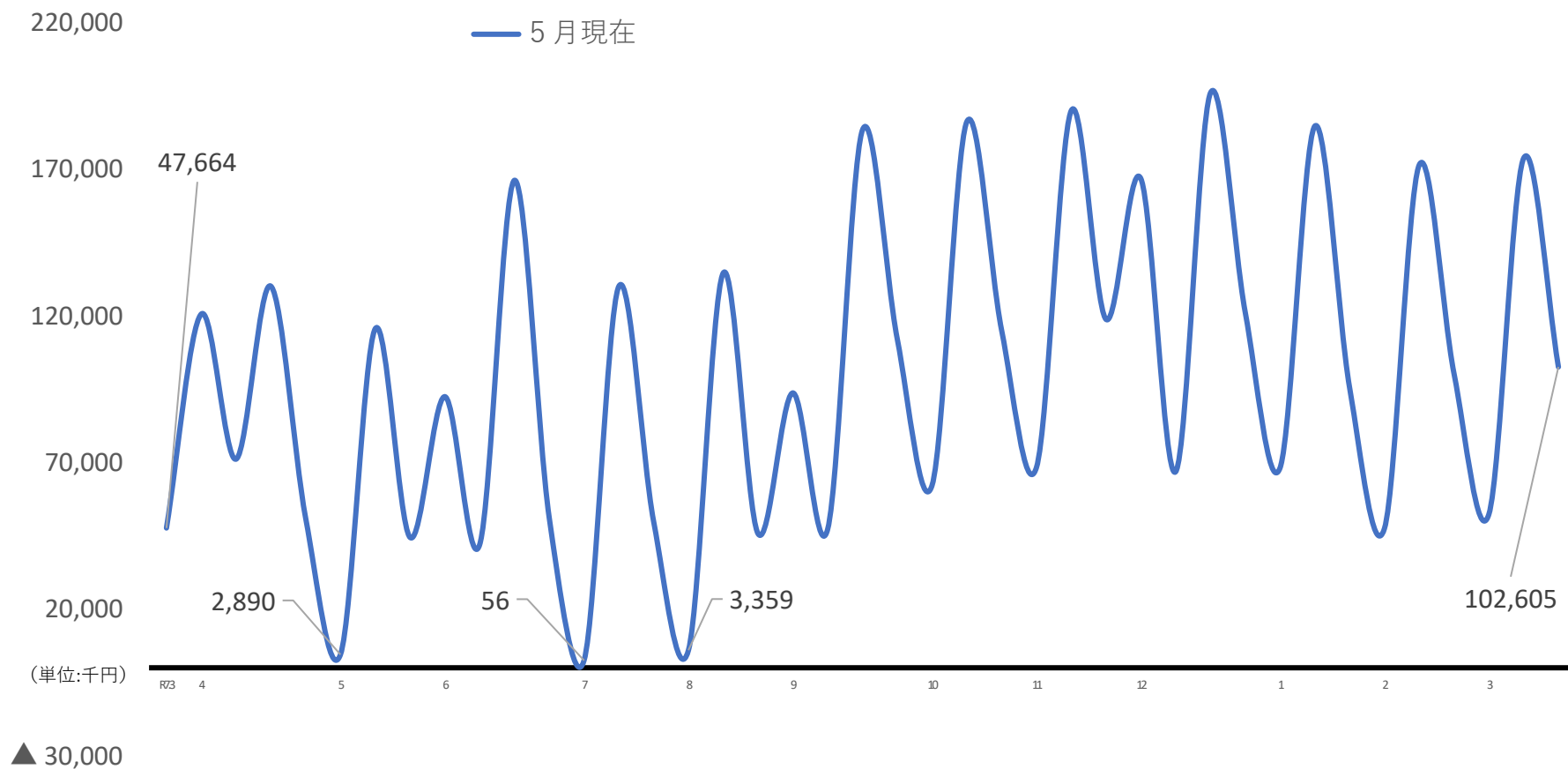
令和7年度以降の資金収支予算書より削減項目の費用抜粋

(単位：千円)

費目	令和5年度 決算	令和6年度決算 (速報値)	令和7年度 目標	令和8年度 目標	令和9年度 目標
医療事業収入	1,211,376	1,202,772	1,452,068	1,483,175	1,527,273
医薬品費	542,665 (44.8%)	463,193 (38.5%)	454,998 (31.3%)	424,998 (28.7%)	404,998 (26.5%)
診療・療養等材料費	67,342 (5.6%)	71,426 (5.9%)	66,021 (4.5%)	66,021 (4.5%)	66,021 (4.3%)
事務消耗品費等	27,871 (2.3%)	25,234 (2.1%)	20,766 (1.4%)	20,766 (1.4%)	20,766 (1.4%)
業務委託費(※)	153,161	123,526	132,846	125,768	125,768

各費目の金額÷医療事業収入（無料低額診療等事業費補助金を除く）×100

【参考】令和7年度運営資金の状況



(3)社会福祉法人 大阪社会医療センター収支改善計画(概要)

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
●収入確保の取組			
地域連携強化	西成区を含む近隣の医療機関及び診療所や介護事業所等への訪問による周知活動		
がん検診促進事業			
広報活動の強化	市民公開講座等の実施、チラシ配布、イベント開催、SNS活用等		
その他	患者へのアンケート調査		
効果額	上記とあわせて、地ケアの稼働率向上による増収（公認会計士試算：約2.35億）		
	+ 約2.40億円（R5 決比）	+ 約0.31億円（前年比）	+ 約0.44億円（前年比）
	R6効果額（0.12億円）とあわせて、約3.27億円の増収		
●経費削減の取組			
医薬品の購入額削減	後発医薬品の促進（ジェネリック率 R7：46％、R8：70％、R9：80％）		
医薬品管理	システム導入による在庫管理		
診療・療養等材料費の見直しによる削減	診療・療養等材料費全般に対し、価格交渉を実施		
事務消耗品費等の見直しによる削減	事務消耗品全般及び職員被服費に対し、価格交渉を実施		
業務委託費の見直しによる削減	白衣リース契約時に削減を見込む		
	保安設備管理委託費・清掃委託費の減 契約更新時（医事業務・給食費・寝具）に削減を見込む		
医療機器保守料（※） 水道光熱費等の削減取組	※機器契約更新時に削減を見込む		
効果額 （前年度比較による。R7年度のみR5決算比較） 【公認会計士による試算：約2.07億円】	約1.16億円の削減	約0.57億円＋αの削減	
	R6削減額（0.29億円）とあわせて、約2.02億円＋αの削減		

(4) 中期目標期間における資金収支計算書の概要

(単位：百万円)

		R5 決算	R6決算 (速報 値)	令和 7 年度		令和 8 年度		令和 9 年度	
診療報酬等	入院 (一般病棟)	459	369	332	@26,000×35人×365日	378	@28,000×37人×365日	432	@32,000×37人×365日
	入院(療養病棟) ※～R6.9	12	38						
	入院(地域包括) ※R6.10～	-	174	480	@47,000×28人×365日	480	@47,000×28人×365日	480	@47,000×28人×365日
	外 来	720	603	620	@12,500×205人×242日	605	@12,200×205人×242日	595	@12,000×205人×242日
	訪問看護等	21	18	19		19		19	
	補 助 金	390	224	217		217		217	
	そ の 他	10	7	3		3		3	
①：収 入 計		1,612	1,433	1,671	—	1,702	対前年比 +31	1,746	対前年比 +44
人件費等	人 件 費	706	809	833	定期昇給・賞与4.4月分	844	定期昇給・賞与4.4月分	854	定期昇給・賞与4.4月
	事 業 費	653	583	577 (▲88)	医薬品▲(87) 診療材料 (▲1)	547 (▲30)	医薬品 (▲30)	527 (▲20)	医薬品 (▲20)
	事 務 費	258	238	227 (▲20)	委託(医事業務委託→人件費など)	220 (▲7)	保安委託料等による減	220	
	減 免	33	30	32		33		33	
	支 払 利 息	3	3	3		3		3	
②：支 出 計		1,653	1,663	1,672	—	1,647	対前年比 ▲25	1,637	対前年比 ▲10
③収支差 (①－②)		▲41	▲230	▲1		5 5		1 0 9	
④：その他収入		39	260						
⑤：その他支出		52	10	2 3	・ 借入返済(元本) 4 ・ 退職引当積立金 19	4 8	・ 借入返済(元本) 13 ・ 退職引当積立金 20 ・ 備品購入積立金 15	6 3	・ 借入返済(元本) 13 ・ 退職引当積立金 30 ・ 備品購入積立金 20
⑥当期収支差 (③+④－⑤)		▲54	19	▲24		7		4 6	

※ () 内の金額は対前年度比。ただし令和7年度は令和5年度決算との比較